

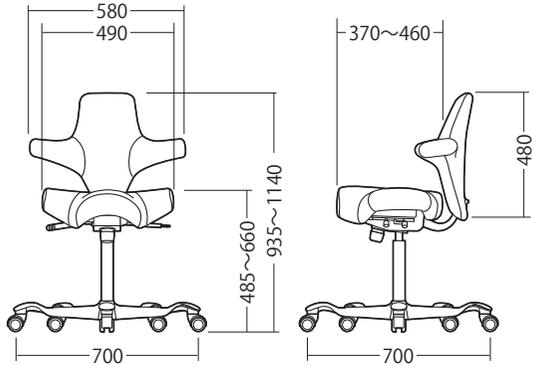
この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。  
このレーシングチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

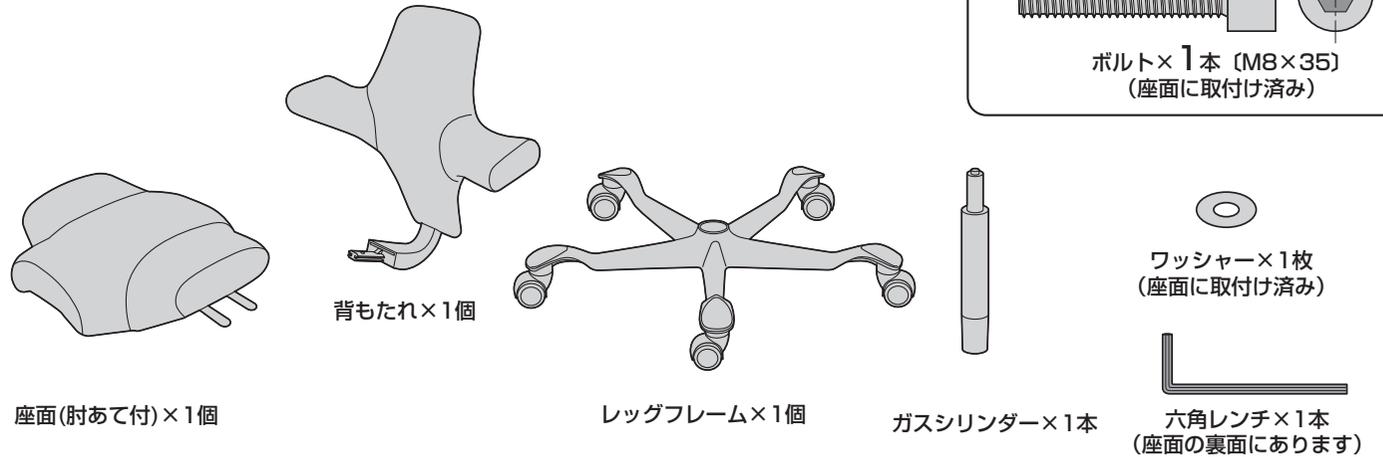
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

**完成図**



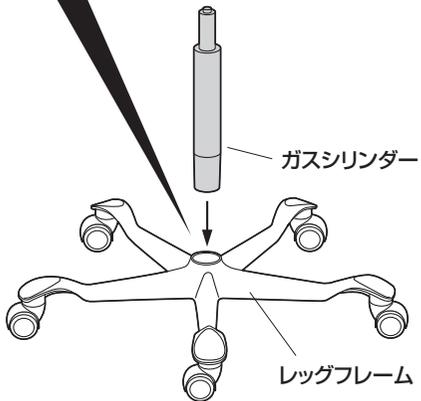
**組立て部品**



**1** レッグフレームにガスシリンダーを取付けます。

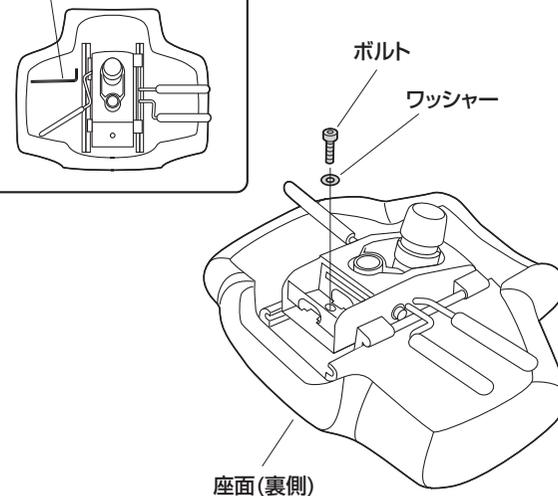
⚠注意⚠

ガスシリンダーが後で抜ける事の無い様に、押し込みます。



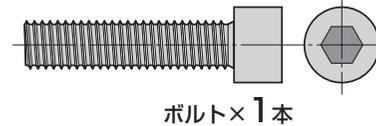
**2** 座面のボルトを取外します。

※六角レンチは座面裏にあります。

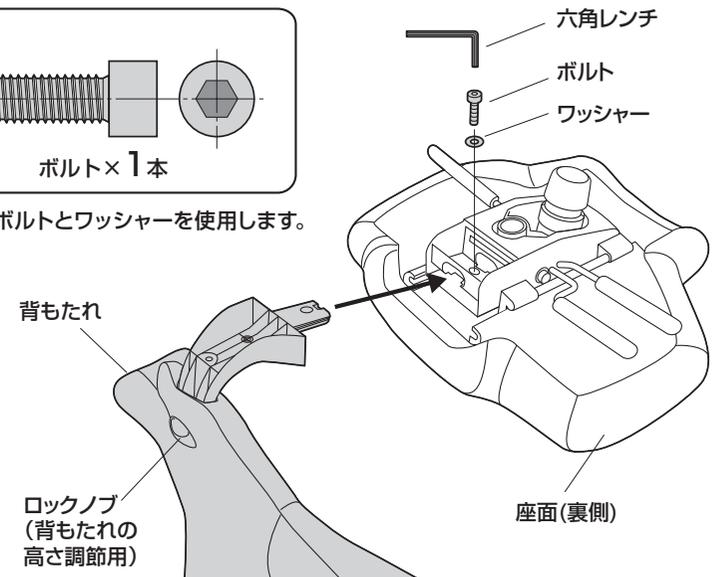


**3** 座面に背もたれを取付けます。

使用ボルト



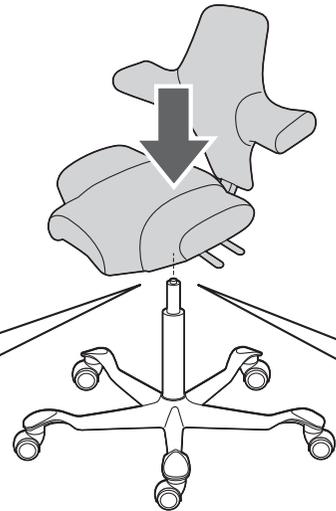
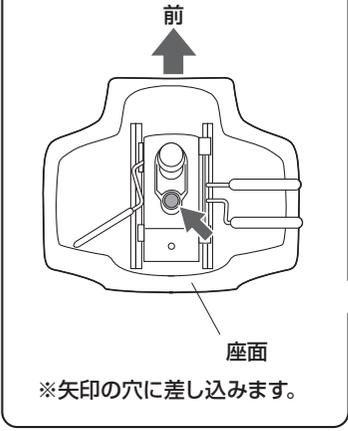
※②で取外したボルトとワッシャーを使用します。



4

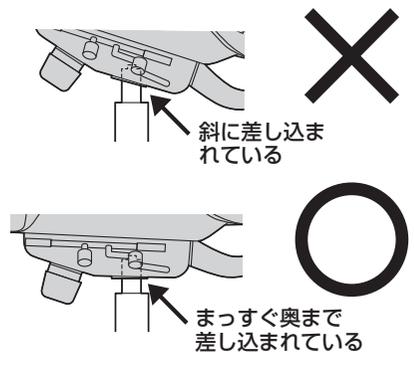
ガスシリンダーに座面を差し込みます。

下から見た図



▲ 注意 ▲

座面プラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面プラケットが斜に差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



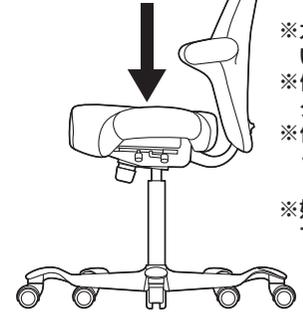
5

座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んで完成です。

最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

座って押し込む



※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。  
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。  
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

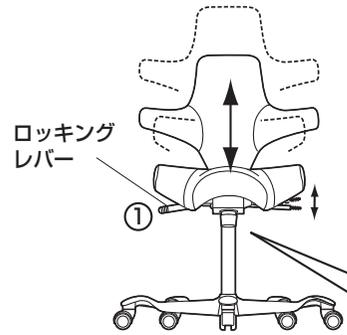
※好みで背もたれにヘッドレストを取付けてください。

各部の調節方法

▲ 注意 ▲

高さレバーを持ち上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面プラケットを差し込み直してください。

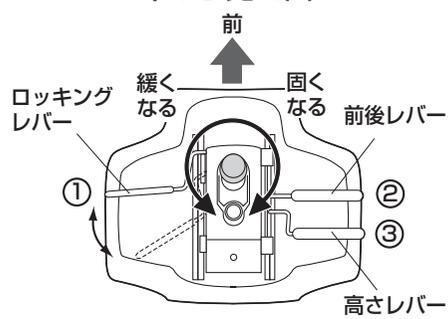
① ロッキングレバーを前方にするとロッキング機構が働き、レバーを後方にすると固定されます。



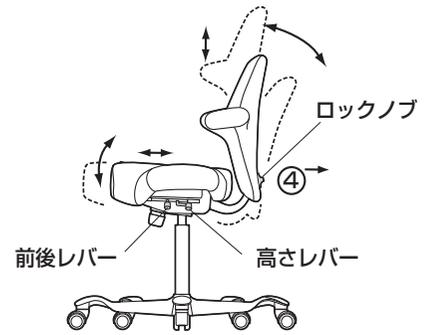
② 前後レバーを上を持ち上げると座面の前後調節ができます。

③ 高さレバーを上を持ち上げると座面の高さ調節ができます。

下から見た図



下から見て、ツマミを時計回りに回すとロッキングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



④ ロックノブを引くと、背もたれの高さ調節ができます。

▲ 注意 ▲ 背もたれを倒す時に後方へ転倒しないように注意してください。

チェアの品質表示

外形寸法：幅700×奥行700×高さ935～1140mm (座面高さ485～660mm)  
構造部材：座部・背もたれ部/PP、フレーム/アルミニウム、スチール  
脚部/アルミニウム、キャスター部/ナイロン  
張り材：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
  - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
  - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。